

2 学習指導過程

	基本発問と予想される生徒の反応	指導・援助
導入	<p>○津田左右吉の生き方について説明を聞く。</p> <p>○「幕末から明治に興味があったのに、上代（奈良時代）までさかのぼり歴史を調べたのはなぜでしょうか。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 津田左右吉が現在の美濃加茂市下米田の出身であることを伝える。 左記の発問によって問題意識を醸成する。
展開前段	<p>◇資料を範読する。</p> <p>○「どんなことでも、そのことだけを見つめては、その内容の意味を本当につかむことはできない」と考え、広くその時代のことを知り、上代までさかのぼって研究をした津田左右吉の姿勢について、あなたはどのように思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> すごいと思います。人生をかけて自分で決めた研究をしているからです。 素晴らしいと思います。広い視野で幕末から明治維新の歴史を見つめようとしているからです。 真理を求めてどんどん追究したことで、深い研究になったところがすごいと思います。 私は深く調べることなく、テレビやインターネットの情報をすぐに真実だと決めつけてしまいます。 立派だと思うけれど、大変な作業で僕には真似できません。 <p>◎広い視野から歴史を研究することは大変なことです。津田左右吉は、広い視野から歴史を研究することで、どのような喜びを感じていたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しい真実の発見だと思います。新しいことが分かるので、頑張ろうという気持ちになるのだと思います。 広い視野で見たことで、同じ物を違った視点で見ることができるようになり、真実が見えてきたから、それが嬉しくて、やり遂げることができたと思います。 新しい発見や本当のことが分かるから、それが喜びになって大変な研究をやり遂げることができたのだと思います。 誰もが納得する歴史の真実が明らかになることが喜びになったからだと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 津田左右吉の研究に対する姿勢をどう思うかと発問することで、津田左右吉の生き方に対する自分の感じ方や考え方と向き合うことができるようにする。 「すごいと思う」「素晴らしい」といった発言に対しては、そのように感じた理由を多面的・多角的に見つめること、真理を探究する生き方のよさを感じ取ることができるようにする。 「自分は真似できない」といった発言を肯定的に受け止めた上で、「どの部分が真似できないか」と問い返すことで、津田左右吉の生き方の素晴らしさの中身を表出させる。 状況に応じて、「一つの物事を見て本当のことだと決め付けてしまうことはありませんか。」や「うわさやインターネットから得られる一つの情報を本当のことだと決め付けることはないですか。」と問いかけ、広い視野で多面的・多角的に物事を見つめることのよさに気付くことができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【深めの発問】 ★津田左右吉のように、広い視野から見たことで、新しい発見ができた、見方や考え方が変わったりしたという経験はありますか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 状況に応じて、「みんなは、夏休みの研究や勉強などで、新しい発見や真実が得られたときに嬉しかったことはありますか。」と問いかけ、津田左右吉の感じ方や考え方と自分自身を重ね合わせて捉えることができるようにする。
展開後段	<p>○今日の授業では、本当のことを明らかにするためには、視野を広げ様々な視点や角度から見つめることの大切さを学びました。今後、このことをどんなことに生かそうと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 僕はすぐに決めつけしまうから、広い視野で見つめることができるようになりたいです。 私は友達から聞くうわさやインターネットに書かれた一つの情報を正しいことだと受け止めていました。広い視野で見つめ、新しい発見ができる生き方をしたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> 展開後段では、「広い視野」「正しいこと」という視点を示し、道徳的価値を自分との関わりで捉え、自己を見つめ直すことができるようにする。行為のみを書いている生徒には、「どんな気持ちや考えからこの行為をしたいと書いたのか。」「いつもはどんな気持ちでこの行為をしていたのか。」など、自分の心の中や、心の傾向性を見つめることができるようにする。
終末	<p>◇津田左右吉博士記念館（下米田）に展示してある資料を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 真理を求めて努力した生き方に学びたい。 一度書いた文章に何度も修正を加えています。広い視野から見つめ直していることが分かりました。 <p>◇「私たちの道徳」「（４）真理・真実・理想を求め人生を切り拓く（P32）」を読む。</p>	<p><変容の見届け></p> <ul style="list-style-type: none"> インターネットの情報を鵜呑みにする傾向にある生徒が「広い視野で多面的・多角的に物事を見る必要がある」ことを書いている。 困難を乗り越えて真理を探究する姿勢に弱さの見られる生徒が「新たな発見、見方や考え方を身に付けることによって喜びが得られる」ことを書いている。